

2021 年度岩手県立大学入学者選抜の変更について（予告）

平成 30 年 11 月 26 日

岩手県立大学教育支援本部

2021 年度岩手県立大学入学者選抜を次のとおり変更する予定ですので、あらかじめお知らせします。

なお、このほかの変更内容については、平成 30 年度内に本ホームページ等で公表する予定です。

全学部共通

○ 一般選抜に係る英語の資格・検定試験の利用

2021 年度岩手県立大学入学者選抜については、本年 4 月、大学入試センターが認定した英語の資格・検定試験（以下「認定試験」という。）を利用する旨公表したところですが、認定試験の利用における課題への対応が十分とは言い難い現状を重く捉え、2021 年度入学者選抜の一般選抜では認定試験を利用しないこととしました。なお、大学入学共通テスト（現行大学入試センター試験）の英語を利用することには変更ありません。

認定試験の利用については、地理的な条件等による受検機会の公平性の確保や受験生の経済的負担に係る課題が指摘され、本県の高校関係者も同様の課題を指摘しているところであり、本学としては、高校における英語 4 技能化への取組については尊重するものの、受験生が不安を抱えるような状況を看過できないこと、また、多様な学生確保の観点から、認定試験を課すことによって本学の受験機会が制限されないように対応することが必要であると判断したものです。

なお、2022 年度以降の入学者選抜においては、認定試験の実施状況を見極めながら対応を検討することとし、変更が生じる場合は、事前に予告します。

高校生の皆さんへ（学長メッセージ）

本学では、2021 年度入学者選抜の一般選抜においては、大学入試センターが認定した英語の資格・検定試験（認定試験）を利用することを本年 4 月に公表しましたが、この方針を変更し、認定試験を利用しないこととしました。

その理由は、岩手県内を含め地方において、高校生に等しく認定試験を受検する機会が確保できるか、受検料や会場までの交通費など認定試験への経済的負担が多いことなど、不安を抱えたまま受検することを心配したためです。また、岩手の高等教育機関として地域の未来を担う人材育成を使命とする本学として、認定試験を受検しなかった場合でも、本学を受験することができるようにしたいと考えました。なお、2022 年度以降の入学者選抜については、対応が変わる場合は事前にお知らせします。

本学においては、入学者選抜では英語をこれまでどおり重視することとしており、入学後の教育においても英語は大学で学ぶ基礎をつくる大切な科目のひとつに位置付け、引き続き 4 技能のバランスのとれた英語力の育成を図っていきます。高校生の皆さんは、高校においてしっかりと英語の基礎学力を身に付けて、本学を志願してください。

岩手県立大学 学長 鈴木 厚人